

かづの高校生広報室

☎ 政策企画課 総合戦略室 ☎ 30・0201



高校生ならではの視点で市の魅力を見つけ、情報発信することで、市の認知度や若い世代のふるさとへの愛着を高めてもらうため、昨年度から「かづの高校生広報室」を設置しています。

昨年は、フェイスブックへの投稿やFMラジオへの出演、市広報紙への記事掲載のほか、本市を訪れた大学生との交流に加え、市内でロケが行われた映画の取材などさまざまな場面で活躍しました。

今年度は、昨年度からの継続となる4人に新たなメンバー3人が参加し、7人で活動していきます。

高校生から見える鹿角の魅力はどのようなものか。これから活動に期待してください。

昨年の活動写真（右から映画撮影者へのインタビュー、映画の炊き出し取材、大学生との交流、ラジオ出演の様子）



平成30年度かづの高校生広報室員が活動にかける想い

高校生広報室員になった7人に鹿角のどういふところをPRしていきたいか、意気込みを語ってもらいました。

農業のすばらしさをー。

鹿角の農業をPRしたいです。鹿角産の作物は農業などを通常よりも抑えて作った、人にも自然にも優しいということを多くの人に知ってもらいたいです。

【たばた】

鹿角の自然・人・食をー。

去年に引き続き活動しますが、今年は去年の経験を生かしながら、鹿角の自然の豊かさや人のつながりの深さ、鹿角の食べ物のおいしさを伝えていきたいと思っています。

【みい】

隠れた小さな良さをー。

市民憲章に「緑と水の映えるまち」とあるように美しい自然のほか、伝統行事や歴史などの隠れている小さな良さも発見し、多くの人に情報を発信していきたいです。

【さとま】

地元の人々の温かさをー。

鹿角の人たちのやさしさや魅力を見つけ出し「鹿角っていいな」と思ってもらうこと、そしてたくさんの人に「鹿角に行ってみよう」と思ってもらえるようなPRを頑張りたいと思います。

【風音】

若い観光客を鹿角にー。

以前やっていたボランティアガイドで鹿角は素晴らしいところだと言ってもらい、自分も改めて実感しました。そんなすばらしい鹿角の魅力を積極的にPRして、若い観光客をもっと呼び込めるようにしたいと思っています。

【リュウリック】

住み続けたいまちにー。

鹿角に移住する人が増えているので、「移住したい」「住み続けたい」と思えるような鹿角の魅力を発信していきたいと思っています。

【姓】

輝く鹿角を伝えたい。

鹿角の自慢できることや輝くポイントを見つけ出し、PRしていきたいと思っています。

【ぼたけん】

「鹿角」を伝えたい。

かづの高校生広報室委嘱状交付式



かづの高校生広報室 Facebook : <https://www.facebook.com/kazunokoukousei>

鹿角版関係人口を増やす取り組み

鹿角家 かづのけ

家族のようにー。

皆さんは「関係人口」という言葉をご存知ですか。移住した「定住人口」でもなく、観光に訪れた「交流人口」でもない、新たな地域づくりのキーワード「関係人口」を探ります。

●地域への多様な関わり方

移住・定住の取り組みを通じて見えてきたものは、移住・定住はハードルが高いけれど、観光だけでは物足りず、もっと気軽に地域と関わり、つながりたいという想いを持った人たちの存在です。

- ・地域の特産品を買っている
- ・ふるさと納税をしている
- ・都会で地域の情報を発信している
- ・頻繁に地域へ訪れている

このようにさまざまな形で地域に関わっている人たちを「関係人口」と呼びます。

多種多様な関わり方がある中で、地域に愛着があり、継続的につなが

りを持つ関係人口の方々が、地域づくりの新たな担い手として注目されています。

●「鹿角家」の取り組み

本市は、移住コンシェルジュの採用やNPO法人かづのCLASSYとの連携など、移住・定住促進に力を入れており、平成27年度からこれまで75世帯132人が移住しています。これに加え、今年度より関係人口を増やす取り組みとして、新たな事業「鹿角家」に取り組みます。

関係人口を鹿角家という大きな「家族」とみなし、本市に想いや縁のある方などに鹿角家の家族に登録していただきます。首都圏での交流イベント「家族会議」や、市内での暮らしを体験する「実家暮らしツアー」を開催するなど、離れていてもつながり続け、支え合う家族のようなコミュニティづくりに取り組み、将来の定住につなげていきます。

☎ 政策企画課 鹿角ライフ促進班 ☎ 30・0208

「鹿角家」キックオフイベント 関係人口を学ぶ

◆日時 7月29日(日) 13時～15時

◆場所 道の駅おおゆ イベント広場

(雨天時は大湯温泉保養センター湯都里研修室)

※入場は無料です。

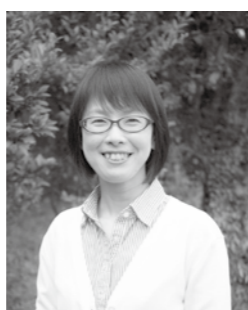
第一部

講話 「関係人口という提案」
講師 田中 輝美氏 (ローカル・ジャーナリスト)

第二部

パネルディスカッション
「鹿角版関係人口」
パネリスト
田中 輝美氏
かづのCLASSYメンバーほか
コーディネーター
木村 芳兼氏
(かづのCLASSY 理事長)

☎ 政策企画課 鹿角ライフ促進班 ☎ 30・0208



つながる。

田中 輝美 (たなかてるみ)
ローカルジャーナリスト
島根県浜田市生まれ。大阪大学文学部卒業後、山陰中央新報社に入社し、ふるさとで働く喜びに目覚める。現在は退社・独立し、島根県を拠点に活動中。近著に「関係人口をつくる」(木楽舎)